

## 1 総括についての評価

- ・コロナ禍の影響によって、これまでの3年間は、様々な学校行事や学年行事の計画変更等が行われてきたにも関わらず、生徒の気持ちに寄り添い、落ち着いた環境の中で学習活動が展開されている。学力向上の取り組みが着実に進められており、生徒が安心して過ごせる環境づくりとともに、学校の組織的な運用がなされている。「学校生活は楽しい」と答えた生徒が90%近くいるという高い数値結果からも、限られた時間を有効に活用しながら、生徒たちの学校行事等における達成感についても高いものがあったと感じられる。
- ・不登校については、地域との連携も難しくなっている状況ではあるが、学校だけの問題ではなく「家庭環境による問題」として捉えて外部機関との連携を継続して行い、更なる改善が進むよう教育活動を展開していただきたい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ・生徒アンケートの結果による「学校生活は楽しい」と答える生徒が前年度より更に増加してきており、学習活動が円滑に進んでおり、学校行事等の活性化も実施されていることで生徒の達成感が高まってきている。
- ・コロナ禍の影響を受けながらも、教職員の教育活動における創意工夫がなされており、生徒が安心して学習活動に取り組んでいる。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・生徒の学習活動が円滑に進むよう取り組まれており、学習の進捗が滞ることのないよう教職員が一丸となって、学びの継続が実現されるように授業が行われている。
- ・学校見学を通じて、生徒が安心して授業を受けている様子がわかり、教職員が様々な対応をされながら、落ち着いた学習環境が実現されている。
- ・コロナ禍の影響を受けながらも、自己肯定感を更に高めていくことができる教育活動を展開し、生徒が充実した学校生活が過ごせる学校づくりが継続して構築されている。

## 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ・社会情勢の変化に即して、ICT機器を活用し、一人一台端末であるタブレットも活用しながら、更なる学習活動の効率化が実現されていっている。
- ・学校行事の精選を進めながらも、生徒が活躍できる場面をつくりだすことを基盤とし、保護者の協力と理解を進めながら教育環境の充実がなされている。

## 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・学校運営が丁寧に公開されていると同時に、現在進みゆく教育活動の大きな転換に危機感を感じながら、教育活動が進められている。
- ・生徒が安心して学校生活を過ごしていただくための人権教育を根幹に据えた教育活動の展開を継続して取り組んでいかれることを期待している。
- ・学校協議会の場が、住吉中学校の教育活動の活発な意見交換の場として継続しての実施を進めていただきたいと願っている。